



来島交流センターで、青少年育成会議が主催する研修会が開催されました。
元益田市教育委員会の大畑伸幸さんが「今こそ子どもたちに豊かな体験・人との関わりを」と題して講演。これまでの教員としての活動や益田市での市民活動の経験を踏まえ、「子どもたちの手本となる大人の存在の重要性」や「子どもと大人が対等に対話することの必要性」を話されました。
50人を超える出席者はメモを取りながら、耳を傾けていました。



これからの人づくりと地域づくり
青少年育成会議 講演会



子どもたちがふるさとを実感できる地域に向けて

6.27
火

令和5年度飯南町消防団員部隊訓練が、赤名山村広場で行われ、131人の消防団員が出動しました。
訓練開始宣言、団長訓示、町長への出動人員報告後、飯南消防署職員からの指導を受けながら、通常点検と停止・行進間の動作などの部隊訓練が行われました。
参加した消防団員からは「暑い中で訓練となりましたが、消防団員としての自覚を持ついい機会になりました」との声が聞かれました。



町民の安全安心のために
飯南町消防団員部隊訓練



隊列を揃えて行進開始

6.25
日



来島公民館が3年ぶりに「しば餅づくり」を開催し、町民の皆さん約20人が参加しました。
昔から、6月中旬や半夏の頃に作られていたしば餅ですが、近年は作られる家庭が少なくなっています。今回は、しば餅づくりのベテランの人が、初めて作る人に教えながら、一緒に生地をこねるところから行いました。
完成後は「出来たては美味しいね」など、しば餅を食べながら、交流を楽しみました。今後も、この時期に開催が予定されています。



昔ながらの作り方を習って
きじま里山講座 しば餅づくり



あんこの包み方が難しいポイント

6.18
日

さつき会館とその周辺を会場に志々公民館主催の「half いちりナイトウォークラリー」が開催されました。
当日は、15チーム63人が参加。チームごとに、7つのポイントに設けられたクイズやゲームを楽しみながら、約2キロメートルのコースを歩きました。
志々公民館運営協議会の委員をはじめ、志々小学校の先生や地域の皆さんにもご協力いただき、スタッフも参加者との交流を楽しみました。



夜の志々地区を散歩
第26回 half
いちりナイトウォークラリー



チームで協力してポイントを突破しました

6.24
土

子どもと生の芝居を観る会が主催する地域公演が、来島交流センターで開催されました。
同会は約30年前からほぼ毎年、飯南町にプロの劇団や音楽家を招いています。今年も町内の中高生もスタッフとして参加しました。
当日は、京都を拠点に全国で公演されている、くわえ・ぱっとステージさんが、楽しさと切なさのある人形劇「やもじろうとはりきち」を演じられ、子どもだけでなく、保護者も楽しんでいました。



子どもが芸術と触れ合える場を
子どもと生の芝居を観る会



たくさん出てくる人形の動きに興味津々

7.7
金

谷笑楽校を会場に、赤名小学校5、6年生を対象とした通学合宿、通称「かじかクラブ」が実施されました。
この通学合宿は2泊3日、谷笑楽校での共同生活を送ることで、保護者への感謝や協調性を身につけることなどが目的。参加した11人の児童はチームワークが必要なゲームや、食事の準備などを協力して行っていました。
参加した児童は「みんなと生活してとても楽しかった。来年も参加したいです」と話していました。



みんなで協力して生活
通学合宿「かじかクラブ」



全員笑顔で記念撮影

6.29
~7.1
土



部門ごとに分かれ、優勝を目指しスタート

中国地方最大級のヒルクライムレース「飯南ヒルクライム」が開催されました。
全長7.7キロメートルのコースは、美郷町の魚切地区をスタートし、飯南町向谷地区がゴール。高低差約400メートルを一気に登り切ります。
大会には、中学生から70代まで幅広い世代の約150人が県内外から参加。コースレコードを更新し、総合優勝した参加者は「毎年参加しています。今年は優勝できてうれしい。来年も参加します」と話していました。



棚田の中を疾走
飯南ヒルクライム2023



長い坂に負けじとペダルを漕ぎます



入賞者でノンアルコールシャンパンファイト

6.25
日